



卓 話



「カンボジアにおける地雷除去プロジェクト」

RI第2580地区 対人地雷の除去に関する特別委員会

座長 岡崎 由雄氏(東京RC)

<活動の経緯>

1980年代、地球上には紛争地域が数十箇所あり、沢山の地雷が埋められました。その後毎年何万人もの人が地雷に触れて死傷している事実、少しでも早く、1人でも多くの人を地雷の被害から救う『安心して生活できるための土地作り』が、世界平和の急務と感じ、1999年当時故徳増須磨夫ガバナー、私が地区幹事を担当していました時にこの課題に取り組み始め、この課題についてどこまでロータリーとして取り組めるのかということ1年間研究しました。



●人道目的の活動を皆の力で

既に発起人として錚々たる東京ロータリークラブの会員6人(椎名氏、立石氏、牛尾(治)氏など)が活動されている『NPO法人 地雷除去探査機器の開発(JAHDS)』を支援してもらいたいという話がありました。しかしロータリー国際奉仕の精神に基づき、人道支援を目的とした「対人地雷の除去活動」こそ重要であると考え、地雷の被害で苦しんでいる人たちに対して、地雷のないクリアな土地作りをすること事になりました。東京RCひとつのクラブだけでは活動の幅が広がらないので、故・徳増PDGのお声かけで、故阿部PDGの時に地区の世界社会奉仕活動として正式に承認を頂きスタートしました。

具体的には、ロータリークラブが資金を援助し、英国のNGOで地雷除去団体HALO TRUST(ヘイロトラスト)が実際に残留地雷や不発弾の除去を行います。ヘイロトラストは、イギリスの退役軍人の組織で、故ダイアナ妃が支援活動されていたことでもご存知の方があるかと思えます。

●世界で唯一の活動をするクラブ

ロータリーの世界社会奉仕(WCS)として単年度中に起こった災害や被害に手を差し伸べることも大切ですが、長期間にわたり一つの目的に向かって奉仕

を続ける活動も重要であると考えます。ポリオプラスプログラムはその代表例です。

クリアランドプロジェクトは本当に意義のあるプロジェクトだと思います。地雷の被害者に対する支援、義足や車椅子の寄付、リハビリ指導、学校建設、井戸掘りなどをされているロータリークラブはありますが、人が安心して生活出来る土地作りからやっているのは世界中で唯一、当地区のこの活動だけです。2004年関西で開催されましたRI世界大会に於いて、この活動を世界中に広めていきたいとPRし、RIにも活動と呼びかけましたが、資金の問題もあり承認はおりていません。

しかしながら、活動に賛同してくださる方は確実に増えており、アメリカのクラブからも当地区への支援資金の送金があり、元RI会長のラタクル氏からもこの活動の評価を頂き、来日の際にはドル紙幣の寄付や、ご講演の中で「本来のロータリー精神に基づいた人道目的のロータリーらしい活動」だと発表して頂きました。また、アメリカで行われましたガバナーエレクトの研修国際協議会でも世界中のガバナーエレクトにこの活動の紹介がありました。そんな皆さんの支援を得て、現在までこの活動が続いています。

●活動の成果と資金について

2000年から2009年2月までの9年間のクリアランド活動により、約12,000家族、約56,000人の安全な生活が確保できるようになりました。これに費やした費用は約1億4千万円です。活動資金は、分担金や人頭割りの強制徴収方式でなく、この活動に理解をされた方々の善意によって賄われている事もこの活動の大きな特徴です。現地視察に参加していただいたロータリアンの皆さんには十分理解していただいたと確信しています。

また、この活動が長く続けられた理由は皆様のご協力によるものです。地区の公式活動として進めるには、地区ガバナーや諮問委員会を粘り強く説明得ることから始まりました。WCS活動は、海外の現地で実際の活動をしてくれる、しっかりとしたパートナーと明確な目的意識をもって手を結ぶことが肝心です。

「なぜロータリーがこの活動を行うのか？」というご意見もありました。その件に関しては、パンフレットのQ&Aをご覧頂き活動をご理解下さい。

4キロ以上の重いプロテクターを頭と胸につけ、気温40度以上の高温の中で作業を進めるのは本当に大変です。この活動に疑問をもっていた方も、実際に現地に行ってみて初めて理解し賛同してくださる方も多いのです。

●最終目標のクリアランド10号完成に向けて

2000年から地雷の除去作業が年間1,000万円の予算で開始、2001年にクリアランド1号がロハール村で完成し、以来毎年1箇所ずつ合計9箇所の造成が完了。現在2010年に最終目標の10箇所目の造成に向けカンボジアとタイの国境で活動中です。来年2010年2月にクリアランド10号が完成するのを記念して、『クリアランドプロジェクト完遂記念式典』視察ツアーを計画しております。また、プロテクターを着けた等身大のク

メール人地雷除去隊員の石像メモリアルモニュメントに、ロータリークラブの名前を入れて街の中に建てる計画があります。除幕式も予定していますので是非ご参加下さい。

●常任委員の木村平右門氏（東京RC）からの告知

完遂式典の予定は、2010年2月3日（水）～7日（日）にJALとロータリークラブの提携チャーター直行便で現地に行きます。2月5日に完遂式典、晩餐会。前日の2月4日は世界遺産アンコールワット観光やゴルフプレーなども予定していますので、クラブの親睦をかね、或いはご家族・ご友人の皆様と大勢でご参加下さい。（費用約19万円：チャーター機のフライト、宿泊、式典と晩餐会参加費などを含む。3月にパンフレットが完成）